

市町村名	座間味村							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	座間味村海域安全隊事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興			
事業内容	座間味村内の3ビーチにおいて、観光客が増加するシーズンの海難事故防止及び安全確保を図るため、ライフセーバーを配置する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,201	25,571	21,228	20,266	19,271	
		(b) 予算現額	16,201	25,571	21,228	20,266	19,271	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)		16,201	25,571	21,228	20,266	19,271	
	B. 執行済額		15,925	21,957	21,143	20,266	19,270	
	うち交付金充当額		12,740	17,565	16,914	16,212	15,416	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		98.3%	85.9%	99.6%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		プロポーザル方式による随意契約を行い、ほぼ満額の執行となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	ライフセーバーの配置 古座間味ビーチ2名(3名) 阿真ビーチ2名 北浜ビーチ2名 (7月、8月は古座間味1名追加) 11月 各ビーチ1名		目標 (GW～10月末常駐)	(GW～10月末常駐)	(GW～11月末常駐)	(4月中旬～11月中旬常駐)		
			実績	4月24日～10月31日	4月23日～10月31日	4月13日～11月30日	4月18日～11月15日	
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明		座間味村内の3ビーチにおいて、合同会社座間味ビーチパトロールのスタッフが常駐し監視業務を行った。 業務期間:令和2年4月18日～令和2年11月15日 監視員数:各ビーチ2名ずつ合計6名、7月1日～8月31日は古座間味ビーチは1名増の合計7名。11月は各ビーチ1名ずつ合計3名。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
			目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
	ライフセーバー配置期間中の死亡事故0件		実績		1件	0件	1件	
			目標	()	()	()	()	()
		実績						
進捗状況説明		村内3ビーチにおいて、令和2年4月18日～令和2年11月15日の期間でライフセーバーを配置したが、死亡事故が1件発生してしまい、目標達成できなかった。						

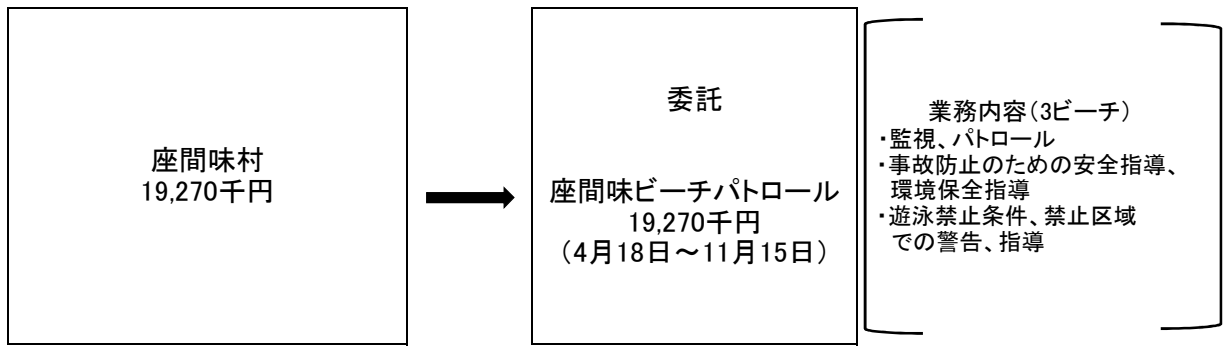
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフセーバーを配置し、海難事故防止と安全確保に努めていたが、死亡事故が発生してしまった。 ・遊泳区域内で遊泳するよう注意喚起をしているが、法的根拠が無いため強制することが出来ず、注意した際にトラブルになることがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止のため、引き続きライフセーバーを配置し、安全確保の徹底を図る。 ・法的な根拠はないが、利用者の安全確保のため、こちらのお願いを聞いていただけるように説明方法等の工夫が必要である。

今後の取り組み方針

・次年度以降も村内3ビーチへのライフセーバーの配置を予定しているが、配置期間等の精査、ライフセーバーの人材育成等を行い、利用が増える期間の事故防止に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,270	19,270	15,416	3,854	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は資格等を考慮して選定しており、また水難救助という特殊性から妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○業務期間、人数等から鑑み、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	座間味村がんばる観光支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充及び県内周知活動、県外水族館等での誘致活動を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,700	20,850	20,050	19,550	19,550
		(b) 予算現額	16,700	20,850	11,050	19,550	12,977
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 9,000	0	▲ 6,573
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		16,700	20,850	11,050	19,550	12,977
	B. 執行済額		9,960	16,550	9,792	18,201	11,143
	うち交付金充当額		7,967	13,240	7,834	14,560	8,914
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		59.6%	79.4%	88.6%	93.1%	85.9%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や規模縮小により、1,834千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	各種イベントへの支援	目標	(イベント支援7件)	(イベント支援7件)	(イベント支援6件)	(イベント支援6件)	
		実績	イベント支援6件	イベント支援7件	イベント支援6件	イベント支援3件	
	県外PRイベントの実施	目標	(イベント実施)	(イベント実施)	(イベント実施)	(イベント実施)	
		実績	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	
達成状況説明	各種イベントへの支援については、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止や規模縮小があり、3件のイベントに対し補助を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	入域観光客数112,000人	目標	()	(111,000人)	(112,000人)	(112,000人)	()
		実績		98,631人	99,110人	45,175人	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、入域者数は減少し、目標達成できなかった。					

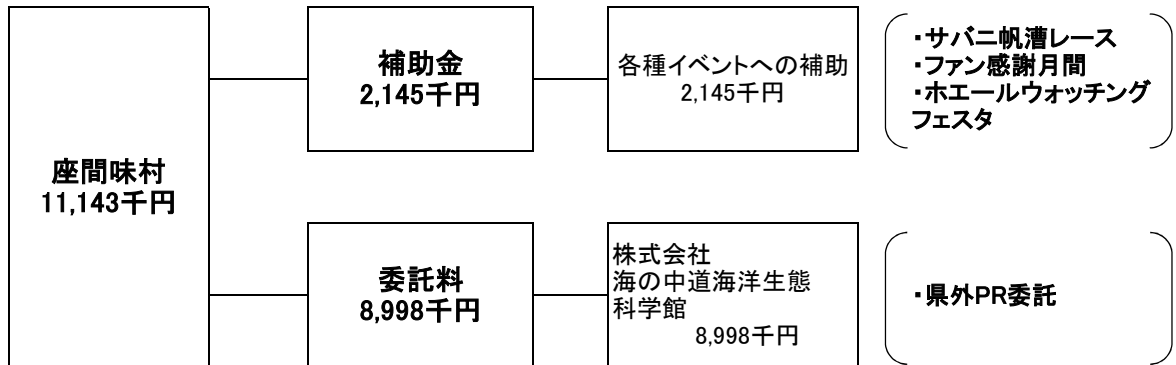
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの中止や規模縮小を余儀なくされ、年間を通して入域者数は激減した。	今後も続くと思われる新型コロナウイルス感染症の影響をいかに軽減するかを意識して取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

PR活動や誘致活動の中で、withコロナ、afterコロナを見据えて安心・安全をアピールし、入域者数の回復を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,214	11,143	8,914	2,229	71



資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県外PR委託事業は、専門性が高く、水族館と直接契約することにより、適切なコンサルティングが図られたことから、妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業規模に見合った範囲内で設定しており、妥当であると考えられる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業内容や事業目的等から判断して妥当であると考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考えられる。

市町村名	座間味村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	座間味村観光受入拠点事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	年中無休の観光業案内とタイムリーな観光情報の発信及びマリンスポーツ事業者や民間事業者への取り次ぎ案内などをスムーズに行い、外国人を含めた観光誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会へ支援を行い、観光客の誘客と満足度の向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,252	19,734	18,282	16,398	16,660
		(b) 予算現額	14,252	19,734	18,282	16,398	16,660
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		14,252	19,734	18,282	16,398	16,660
	B. 執行済額		11,372	16,303	16,235	14,566	12,034
	うち交付金充当額		9,097	13,042	12,988	11,652	9,627
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		79.8%	82.6%	88.8%	88.8%	72.2%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となり4,626千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光案内所開設年中無休	目標	(365日)	(365日)	(365日)	(365日)	
		実績	365日	365日	365日	365日	
	県内外観光客誘致活動	目標	(2回)	(8回)	(8回)	(5回)	
		実績	6回	4回	5回	0回	
	観光事業者向けスキルアップ講座	目標	(8回)	(5回)	(4回)	(3回)	
		実績	6回	3回	2回	0回	
	達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会と県内外での誘客活動が実施できなかった。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度
講座など村観光協会の取り組みについて「観光客の満足度向上に繋がると感じたか」(80%以上)を含め、村内観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		90.3%	89.9%	73.1%	
観光客へのおもてなしへ活用できると感じたか、講習会参加者にアンケートにより調査を実施		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		未実施	95.0%	未実施	
進捗状況説明		新型コロナウイルス感染症の影響によりサービスが低下し、満足度が目標を下回った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会が実施出来ず、目標達成できなかった。					

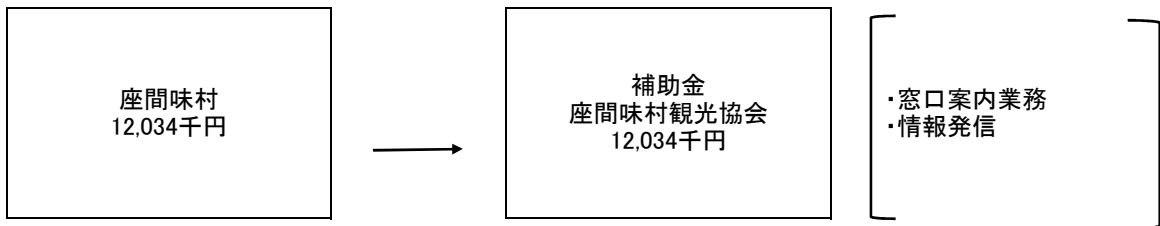
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症の影響により、サービスの質が低下し満足度が下がった。	今後も続くと思われる新型コロナウイルス感染症の影響をいかに軽減するかを意識して取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

PR活動や誘致活動の中で、withコロナ、afterコロナを見据えて安心・安全をアピールしていく。
また、村内に新しく完成したビジターセンターを活用し、質の高い案内業務を行えるように指導していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
13,372	12,034	9,627	2,407	1,338



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的を達成するに当たり、観光協会以外に適した事業者は無いため、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○業務内容に見合った予算規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会は事業費の約1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名	座間味村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	座間味村ウェルカム・パーク整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	令和1~3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本村の玄関口・座間味港に向かって立つ公共施設「座間味村離島振興総合センター」(1981年建設)を解体し、緑地公園化することにより国立公園にふさわしいゲート空間を創出する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	30,670	3,520			
		(b)予算現額	23,600	3,520			
		(c)増減額(b-a)	▲7,070	0			
		(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)		23,600	3,520			
	B. 執行済額		21,862	3,410			
	うち交付金充当額		17,489	2,728			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		92.6%	96.9%			
予算の状況の説明		不用額110千円については委託の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	座間味村ウェルカム・パーク実施設計		目標 (実施設計)	()	()	()	
			実績	実施設計完了			
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・実施設計委託業務は令和2年8月17日契約、令和2年12月24日及び令和3年2月24日に期間延長の改定契約、令和3年3月15日に実施設計完了。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	島の玄関形成地区としてふさわしい緑地公園の整備に向け、実施設計を行う		作成者: 成果目標一覧表の記載内容と合わせました。確認願います。 座間味村: 確認しました。問題ありません。	() (実施設計)	()	()	()
				実績	実施設計完了		
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	関係機関(環境省、座間味区)との協議に時間を要し、履行期間を延長したが、令和2年度中に事業を完了した。						

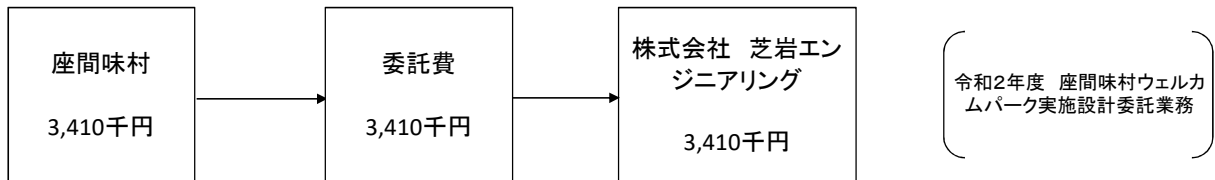
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルカムパークに隣接して環境省がビジターセンターを整備しており、環境省との調整並びに整備箇所が座間味区所有の土地であることから、座間味区との土地交渉に時間を要した。 ・次年度の工事発注に関して、下請け業者の離島単価高騰に伴い、離島工事の受注を控える業者が多いことから、入札辞退等が危惧される。また、本村は観光が主産業であり、工事関係者の宿泊場所の確保が難しいことが予想される。 ・船舶の欠航等による資材運搬の遅れが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予測される調整事項について、早めの対応を行う必要がある。 ・宿泊費等を必要としない村内の工事業者(下請け)を紹介する。 ・村で空き家の紹介、村施設の提供等の協力を行う。 ・資材運搬についての船の予約等は村が協力する。

今後の取り組み方針

・次年度においてはウェルカムパーク整備の実施にあたり早期の工事発注を行い、村内の工事業者(下請け)の紹介、宿泊場所の斡旋・提供、資材運搬の予約協力等を行うことにより、離島での負担軽減を図り、年度内完成を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,410	3,410	2,728	682	0



資金の流 用途の流 れ、点 検、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は入札残であり、事業費の5%以内であることから、適正な規模であった。 ○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第2章-3-(11)-ウ		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備 Ⅲ-9		
事業内容	離島交通ネットワーク手段の確保として、船舶欠航時やダイヤ変更時にチャーターヘリコプターを利用した際の運賃の一部を補助する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,700	12,600	6,000	6,000	2,760
		(b) 予算現額	8,700	6,000	1,740	3,000	2,100
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 6,600	▲ 4,260	▲ 3,000	▲ 660
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		8,700	6,000	1,740	3,000	2,100
	B. 執行済額		3,600	4,200	510	1,740	1,470
	うち交付金充当額		2,880	3,360	408	1,392	1,176
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		41.4%	70.0%	29.3%	58.0%	70.0%
予算の状況の説明		当初予算の段階では合計92回のフライトがあると想定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航自粛等によりフライト数が減少し、630千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	村営船舶航路欠航時等におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施		目標 (支援)	(支援)	(支援)	(支援)	
			実績 支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	慶良間空港～那覇空港間の運行回数49回分の運賃の一部支援を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	利用者アンケートを行い、「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	80%	100%	99.2%	
			目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	アンケート調査の結果、回答のあった132件のうち、100件が「大満足」、31件が「満足」といった回答であった。利用者の満足度は非常に高く、主に船舶欠航時の代替の移動手段があること、船に比べ移動時間の短縮になることに対し、利便性が図られたといった感想が多く寄せられた。						

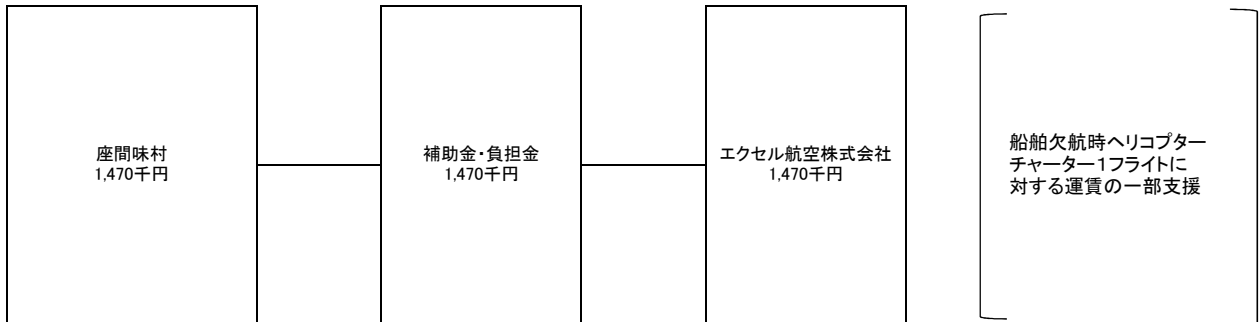
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの満足度は高く、船舶欠航時の代替移動手段として高い評価を得ている。 ・船が運航している阿嘉港～慶良間空港間の公共交通機関が無く、ヘリコプター利用の際は移動手段の確保が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の分析等を行い、引き続き利用者から高い評価を得ることが出来るよう努める。 ・今年度は阿嘉島・慶留間島・慶良間空港までの移動手段として、グリーンスローモビリティを活用した実証実験事業(国土交通省所管)に応募したが、選考から漏れてしまった。移動手段の確保に向け、引き続き検討を行う。

今後の取り組み方針

・公共交通機関の運営については、採算性や人材確保等、様々な課題を有することから、引き続き関係機関や地域公共交通会議等を通じて検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,470	1,470	1,176	294	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内においてヘリコプターによる輸送業務を行う事業者は当事業者しかなく妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額630千円が生じたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、予算規模は適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は最大5人利用時に高速船の那覇発往復料金と同等となっており、妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業の用途については、実績報告、額の確定時において書類等により確認しており、適正である。

市町村名		座間味村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	座間味村自動車航送運賃低減化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るため、高額である本島～座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		3,076	3,843	4,462	4,199	4,199	
		3,635	3,843	4,462	4,199	4,420	
		559	0	0	0	221	
		0	0	0	0	0	
		3,635	3,843	4,462	4,199	4,420	
		3,598	4,326	4,337	4,077	4,420	
		2,878	3,460	3,469	3,261	3,535	
		0	0	0	0	0	
		99.0%	112.6%	97.2%	97.1%	100.0%	
予算の状況の説明	当初の想定よりもバイク(原動機付自転車含む)の補助台数は少なかったが、自動車の補助台数が想定よりも多く、執行率は100%となった						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	車両航送運賃の低減化支援	目標	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	
		実績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	支援の実施	
	目標	目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	当初想定していた車両台数より7台少なかったが、概ね想定どおりに運賃低減化支援を行うことが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	利用者アンケートを行い、「事業に満足している」との回答80%以上を目標とする。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		未実施	73.3%	75.0%	
	【参考指標】支援台数	目標	()	(644台)	(575台)	(594台)	()
実績			617台	577台	587台		
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、支援台数は例年と比べ減少するかと考えられたが、本島での公共交通機関の利用を控え、安全な移動手段として自家用車を使用するために車両航送を利用する方もおり、支援台数は概ね当初の想定通りであった。(4月17台、5月53台、6月55台、7月51台、8月47台、9月47台、10月55台、11月44台、12月66台、1月56台、2月49台、3月47台)また、アンケートを実施し、48件中36件が満足しているとの結果であった。(満足度75%)						

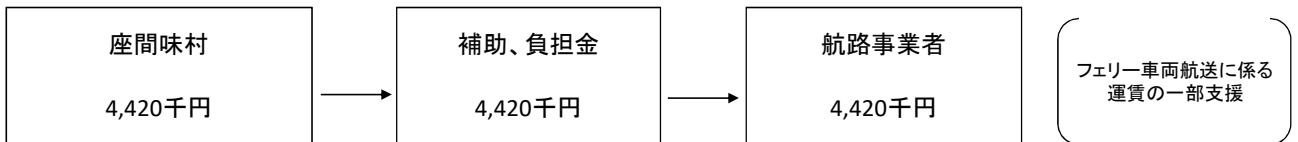
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの結果、利用者満足度は目標の80%に届かなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度より本事業を継続実施しており、補助適用後の運賃に利用者が慣れてしまっている(当たり前となっている)可能性があることから、目標設定やアンケート内容の見直しが必要と考える

今後の取り組み方針

・本事業が沖縄振興特別推進交付金を活用した事業であること、離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るために車両航送運賃の一部を支援している事業であることを利用者に再認識してもらうため、アンケートに事業内容を記載したり、補助が適用されない場合の正規運賃を記載する等、アンケートの記載内容を工夫し、利用者の満足度向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,420	4,420	3,535	885	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○支出先については、航路事業者が1事業者しかないため妥当である。 ○予算規模については、不用額もなく適正な規模となっている。 ○受益者については、5割を負担し実施要綱どおりの負担割合であり、事業内容からも妥当だと考える。 ○座間味村自動車航送運賃低減化事業については実施要綱に定めた額を執行しているので妥当だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	座間味村外来植物討伐事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-ア		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生物多様性の保持			
事業内容	座間味村らしい景観の保全や観光地としての安全性確保のため、村内に自生する外来種(モクマオウ・ギンネム等)の抑制を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
		(a) 当初予算額	9,854	9,854		5,298	5,316	
		(b) 予算現額	9,854	9,854		5,298	5,316	
		(c) 増減額(b-a)	0	0		0	0	
		(d) 繰越額	0	0		0	0	
		A. 計(b+d)	9,854	9,854		5,298	5,316	
		B. 執行済額	9666	9612		5,170	5,137	
		うち交付金充当額	7732	7689		4,136	4,109	
		次年度繰越額	0	0		0	0	
		執行率(%) (B/A)	98.1%	97.5%		97.6%	96.6%	
予算の状況の説明		不用額179千円については委託の入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	外来植物伐倒事業の実施(2地区)討伐数500本を目標とする。		目標	(委託業務の実施)	()	(委託業務の実施)	(委託業務の実施)	
			実績	委託業務の実施		委託業務の実施	委託業務の実施	
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明		委託事業を実施し、外来植物の討伐事業を完了した。しかし、活動目標であった、討伐数500本に関しては、小ぶりな木などもあり、数えることが困難であったため、討伐数は把握できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	観光客アンケートを行い、「魅力的な観光地景観となっている」との回答80%以上を目標とする。		目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績			未実地	89%	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明		アンケートは3月1日より開始したが、コロナ禍ということもあり、島に訪れる観光客が少なく、最初のアンケートが3月29日の回答となっている。また、緊急事態宣言が各都道府県で発令されたことにより、5月14日で一旦アンケートは終了した。全体アンケート数:82件 環境が良かったと回答:43件 悪かったと回答:5件 どちらともいえない:14件 未回答:20件 「どちらともいえない」と「未回答」を省くと48件であり、89%が景観が良かったと回答している。						

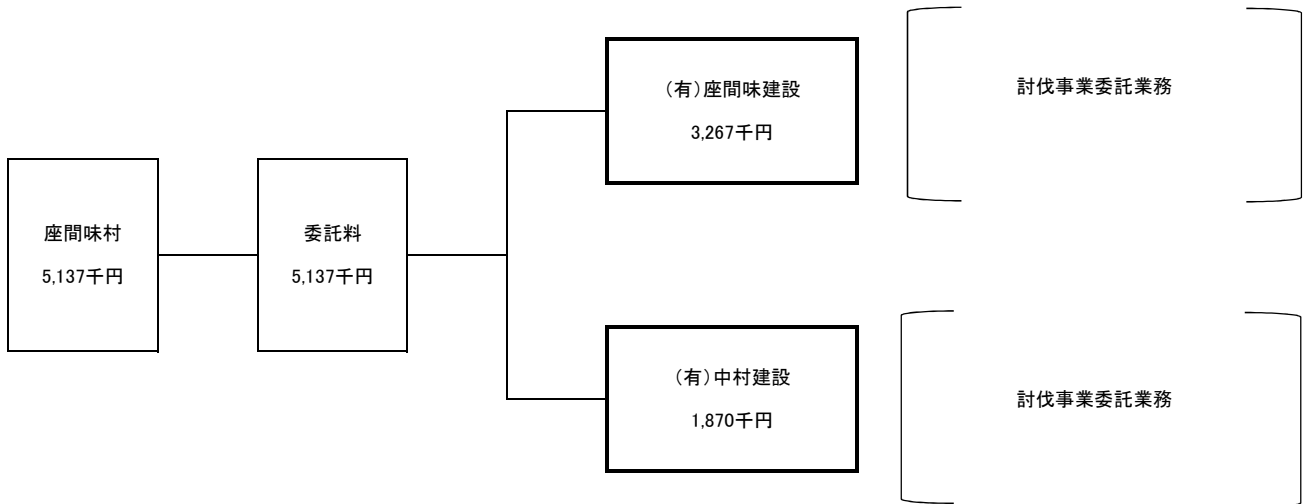
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	観光客向けのアンケートの実施をおこなったが、コロナ禍ということもあり、件数が少なかった。アンケートの未回答が多かったため、アンケートの工夫が必要である。	アンケートは記述式で実施していたが、回答しやすいよう、選択式に変更し、未回答を減らす。

今後の取り組み方針

観光協会と連携し引き続きアンケートを行い、毎年定期的に草刈り、外来植物伐倒を行い、景観の保全や安全性確保を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,137	5,137	4,109	1,028	0



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札により業者選定を行っているため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は作業の実施規模を想定して行っており不用額も5%以下となり妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については精算段階で検査を実施しており目的に即し、必要なものであった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村				
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-①	座間味村平和・未来プロジェクト事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
担当部署名	総務・福祉課	事業実施(予定)年度	平成30～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	本村で起きた戦争事実を後世へ伝えるため、文献・書籍・体験者証言をデジタルコンテンツ化し、平和発信の取り組みに活用する。					
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R3年度)					
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(a)当初予算額	19,043	15,220	12,849	
	(b)予算現額	19,043	15,201	12,849		
	(c)増減額(b-a)	0	▲19	0		
	(d)繰越額	0	0	0		
	A.計(b+d)	19,043	15,201	12,849		
	B.執行済額	18,987	15,191	12,056		
	うち交付金充当額	15,189	12,152	9,644		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	99.7%	99.9%	93.8%		
予算の状況の説明	当初予定していた事業を実施できなかった分、また新型コロナウイルス感染症拡大で委託業者のスタッフ渡航等が当初見込みに満たなかったため不用額が生じ、93.8%の執行率となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	村内全3校での平和学習会	目標	(実施)	()	()	()
		実績	未実施			
	各種イベントの実施(平和コンサート、タイムカプセル等)	目標	(実施)	()	()	()
		実績	一部実施			
	各コンテンツについての情報発信	目標	(実施)	()	()	()
		実績	実施			
	戦跡ガイドの育成	目標	(実施)	()	()	()
		実績	実施			
インタビュー映像の英語翻訳	目標	(実施)	()	()	()	
	実績	実施				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・村内3校で平和学習会を実施する予定であったが、コロナ禍のため協議の結果実施できなかった。 ・村内4カ所、本島1カ所にメッセージボックスを設置し未来へ向けた平和メッセージを募った。コロナ禍により予定していた枚数に満たないため次年度も行う必要がある。平和コンサートについてはコロナ禍のため実施しなかった。 ・本プロジェクトの内容等についてテレビ番組2本、ラジオ番組2本を放映、放送しこれまでのコンテンツ化した資料や村内の戦跡等について情報発信ができた。 ・当初、村内戦跡ガイド育成の講座を予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大の中、人数を集めることが困難であり代替として講座内容をDVD化した。これにより今年度以降も本資料を活用することによりガイドの育成が可能と考える。 ・昨年度作成した、村出身戦争体験者証言を英訳及び画面表示することにより、外国人向けに広く発信することが可能となった。 					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (R3年度)
	平和学習会時におけるアンケートの実施。(本村における戦争事実について理解が深まったか・80%以上)	目標		()	(80%)	()	()
実績				未実施			
【R3成果目標】 年間ホームページ閲覧数	目標		()	()	()	()	(8万件)
	実績						
【R3成果目標】 各教育機関へのデジタル媒体の配布	目標		()	()	()	()	(100件)
	実績						
【R3成果目標】 パンフレット・マップ配布数	目標		()	()	()	()	(5,000枚)
	実績						
進捗状況説明	<p>今年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、平和学習会を実施することができなかった。令和3年度において、作成したテレビ番組等を各校に貸し出し、授業等で活用してもらい、本村の戦争事実を学習してもらおう。また、授業後にアンケートを行い、成果目標(戦争事実について理解が深まったか・80%以上)の達成を目指す。</p>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p><本村の戦争事実についての理解度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で平和学習会を実施することが出来ず、年度内に理解度を検証することができなかった。 	<p><本村の戦争事実についての理解度></p> <p>今年度作成したコンテンツ等を各校に貸し出し、授業等で活用してもらうことにより本村の戦争事実の理解してもらうこととする。</p>

今後の取り組み方針

・引き続きこれまで作成したコンテンツを活用し、本村の戦争事実を観光客やホームページ閲覧者へ広く伝える。また、村公式HPでの情報発信を強化する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
12,056	12,056	9,644	2,412	0



- ・タイムカプセル事業の実施(本島1、村内4カ所のメッセージカード、ボックス設置)
- ・テレビ番組2本、ラジオ番組2本の情報発信
- ・戦跡ガイド育成用のDVD作成
- ・証言映像の英訳及びテロップ表示、サイト公開

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は事業内容から公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額が生じたが、感染症拡大で止むを得ない状況であり適正な規模である。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	